

田中マキ子先生
に学ぶ

事業再構築補助金により作成

褥瘡予防のための ポジショニング

基礎編



監修 田中マキ子
(山口県立大学 学長)



高齢社会の進展は、世界に共通する課題となっています。高齢者の増加は、健康状態の低下から介護や看護を要する方の増加を示します。褥瘡は、一旦発生すると、治癒に至るまでに長い時間がかかる、介護・看護量が増す、高価な薬剤やドレッシングの使用など、当事者のみならず施設・医療機関にも負担が高くなります。

そこで、とても重要な事は、褥瘡をつくらない事・予防することです。褥瘡発生にいたらないように、どのような事を観察し、ケアすればよいのか、正しく理解し、実践することが、とても大切です。

今回ご紹介する「褥瘡予防」については、褥瘡発生を未然に防げるように、不幸にも褥瘡ができたとしても、少しでも早く治せるように、何を観察し、どのような方法でケアすれば良いのかについて、紹介しています。特に、ポジショニングという点から、利用者様や患者様の体位変換をどのようにすれば良いのか、その時の留意点等を、詳しく・根拠に基づいていますが簡単で、「これなら、できそう!」という内容です。

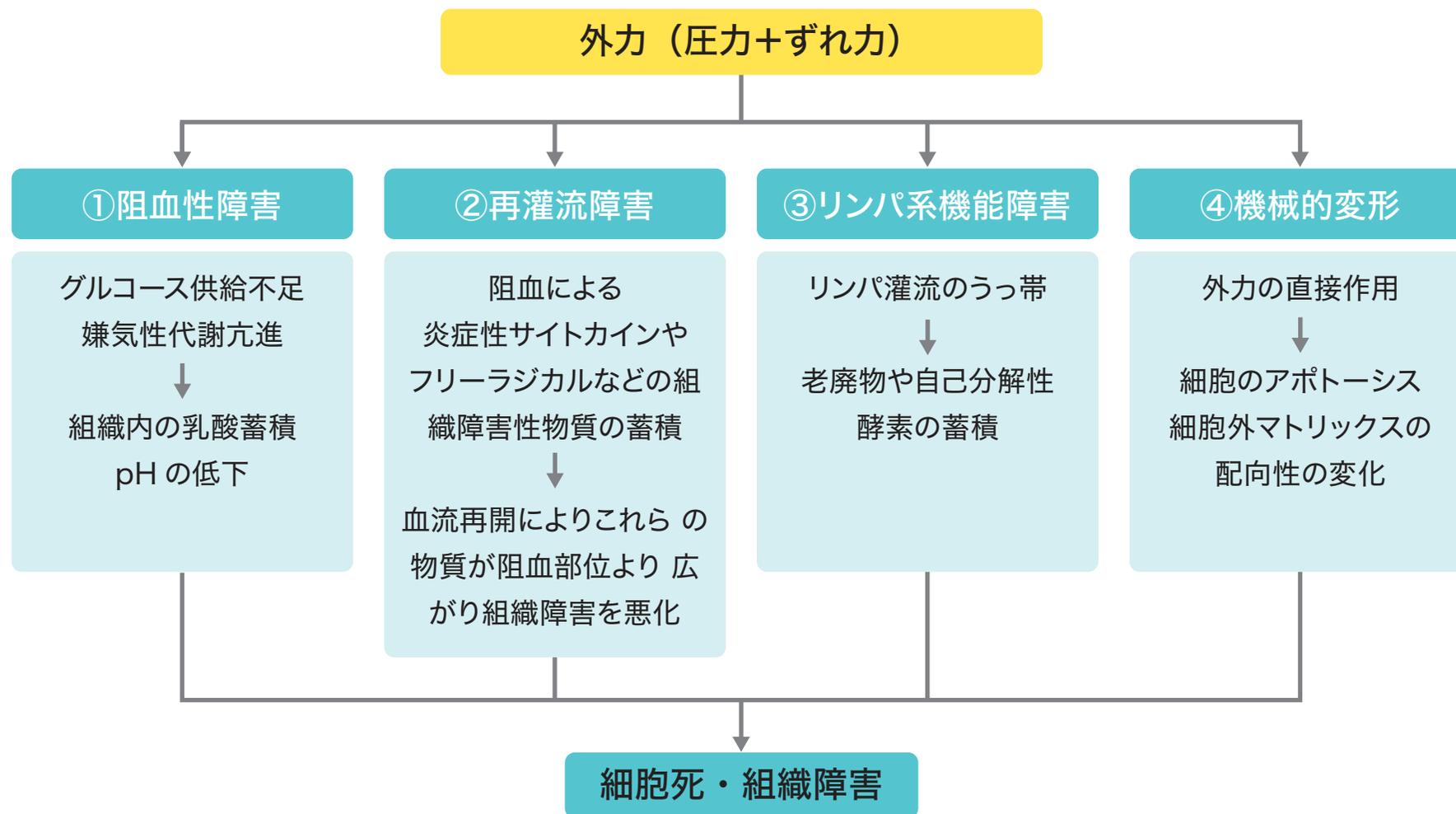
褥瘡治療は、「予防にはじまり・予防に終わる」と言われ、何よりもつくらない事が重要と言われます。利用者様・患者様のために、そして介護・看護する私たちのために、簡単だけど効果ある方法を知り・使っていただきたいと思います。

高齢者の多い社会にあっても、みんなが笑顔で、お互いをいたわりあいながら暮らしていくための方法として、「褥瘡予防のためのポジショニング」を活用ください。

2024年4月 山口県立大学 学長 田中マキ子

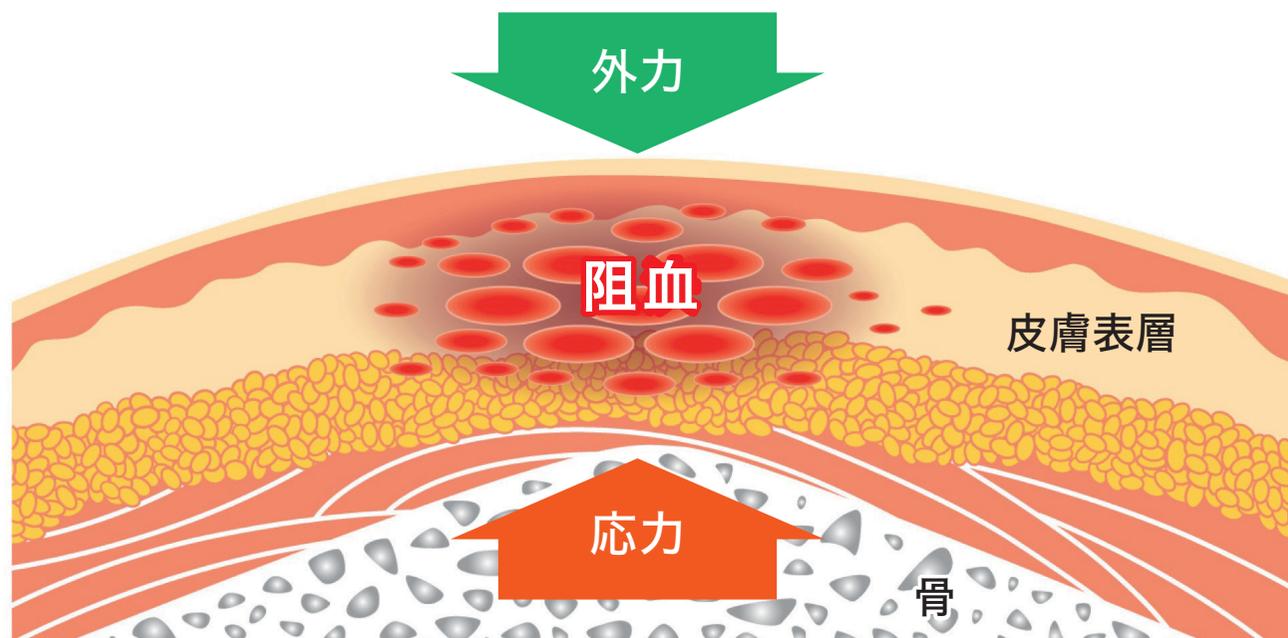
褥瘡発生の要因

褥瘡発生のメカニズム



日本褥瘡学会編：褥瘡発生のメカニズム、褥瘡予防・管理ガイドライン、照林社、東京、2009：19、より引用

外力と応力

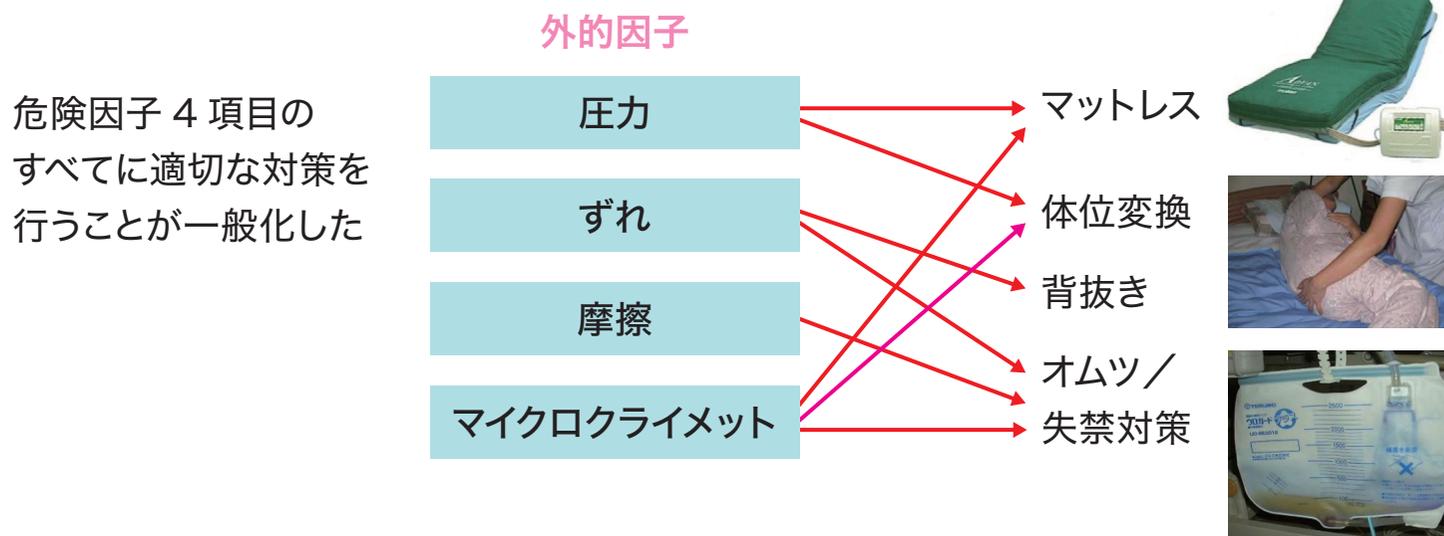


外力が働くと同時に内側からも応力が働くことで、
阻血状態に陥り、組織障害が起こる

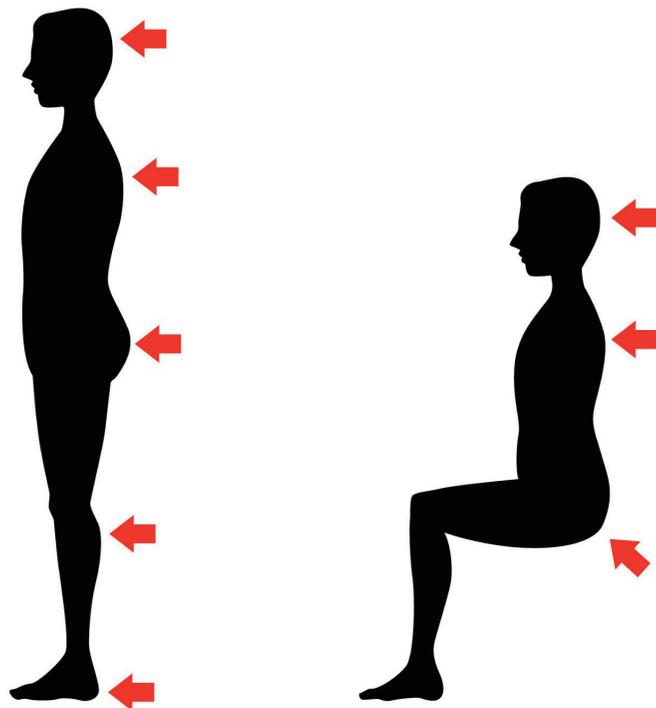
褥瘡発生の要因



病棟の褥瘡対策



身体の弯曲と生理的圧



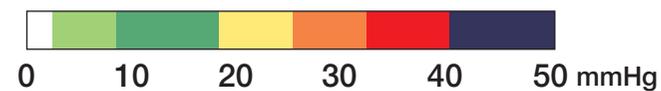
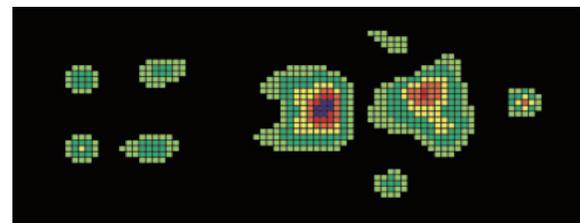
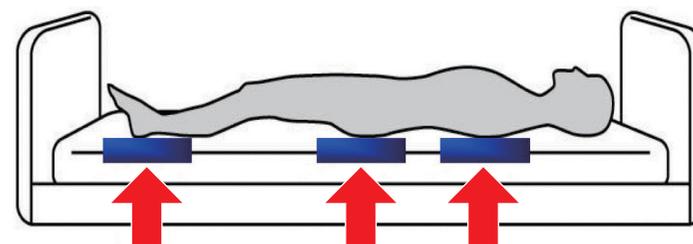
生理的な弯曲によって突出した部分に圧がかかり、褥瘡の好発部位となる。

身体の構造と体圧

要因

- ①ヒトが二足歩行のために獲得した生理的彎曲
- ②身体の分節構造

↓
部分圧迫を生じる



隙間を埋める：点から面

筋肉の緊張・疲労を起こす

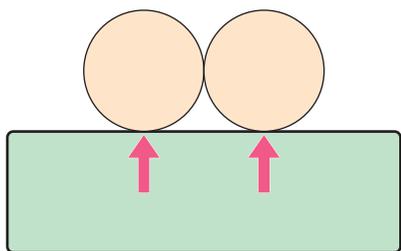


POINT

すき間ができることによる
影響を理解しよう。

圧再分配とマットレスの構造

❌ 沈める ❌ 包む

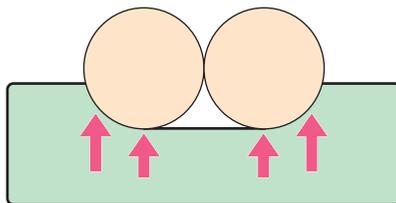


沈める、包む機能がなく、点で支えられた状態



マットレスとの接触面積が小さく接触部分に圧が集中している

○ 沈める ❌ 包む

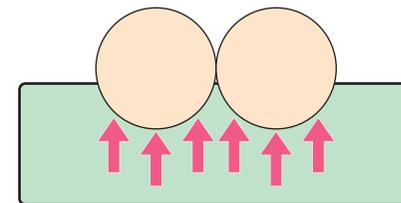


沈める機能があるが、包む機能がなく、凸凹部において支持されない部分がある状態



十分な接触面積を得ることができず圧が高くなることもある

○ 沈める ○ 包む

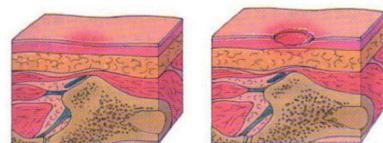


沈める、包む機能があり、接触面積が最大となった状態

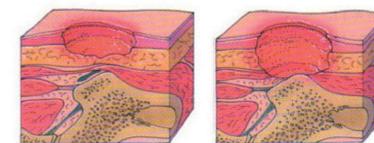


身体の凸凹すべてに適合し、その結果、接触面積が拡大し、圧が分散されるので接触圧を低く保持することができる

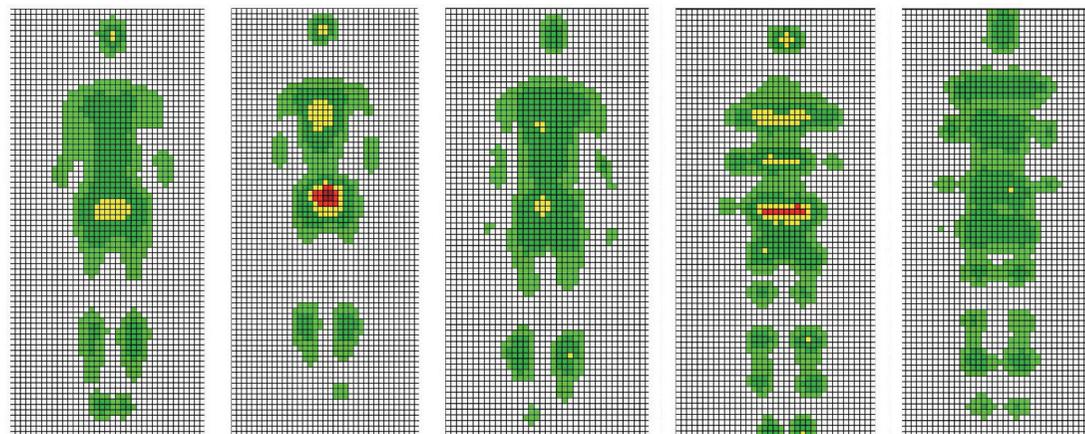
褥瘡の深さとマットレスの機能



浅い褥瘡

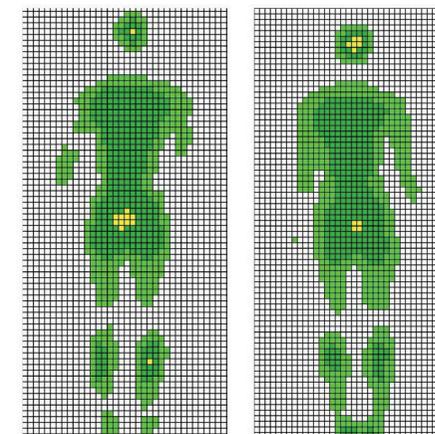


深い褥瘡



薄型・静止型

薄型・圧切替型

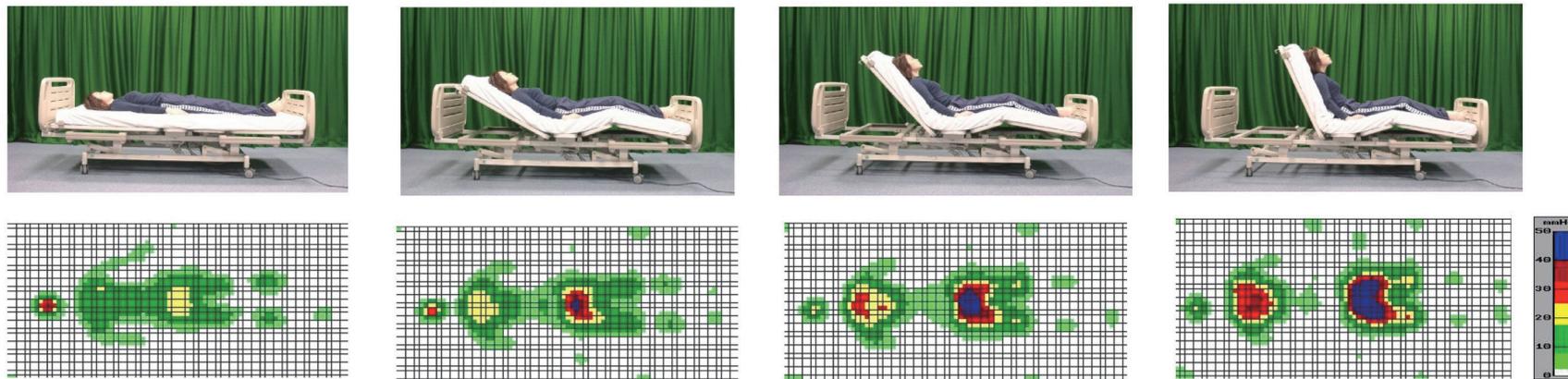


厚型・静止型

ベッドの上げ・下げ時の体圧とずれ力

背上げ時変化

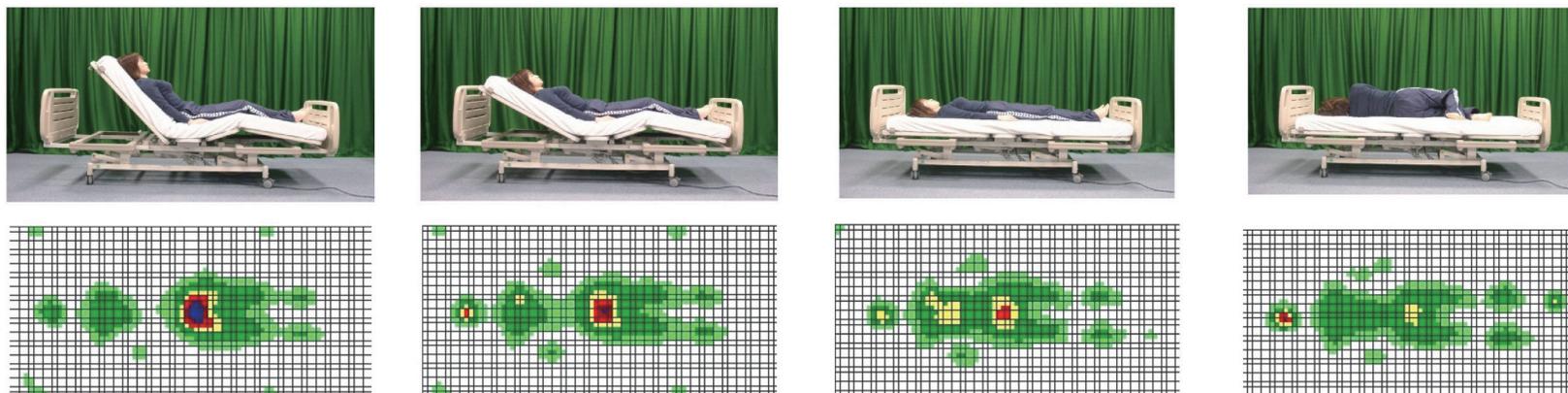
資料提供：株式会社モルテン

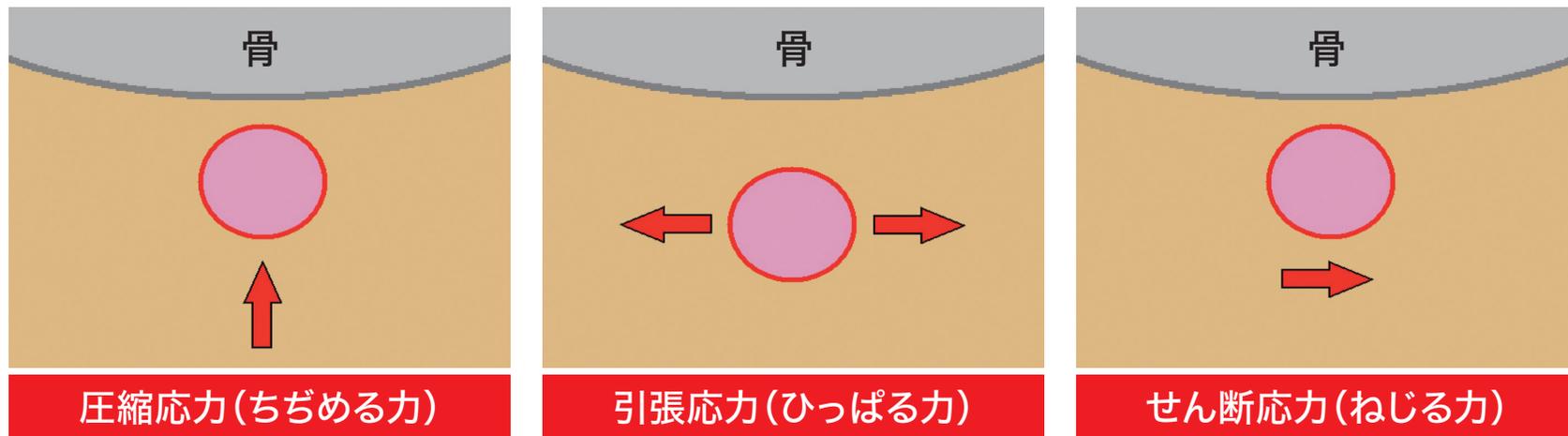


背抜き後



背下げ時変化





外力: 圧、圧迫、引っ張り、摩擦、ずれ
 応力: 生体内部に発生する力
 圧縮応力、引っ張り応力、剪断応力



ずれによるポケット形成

資料提供: 株式会社モルテン

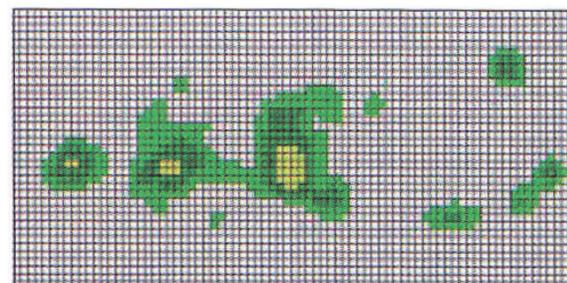
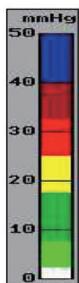
ずれ力の軽減から安全・安楽を目指す



グローブ使用前

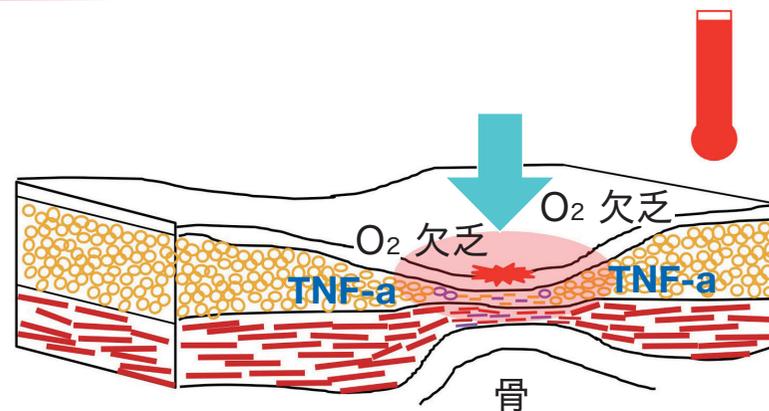


グローブ使用后



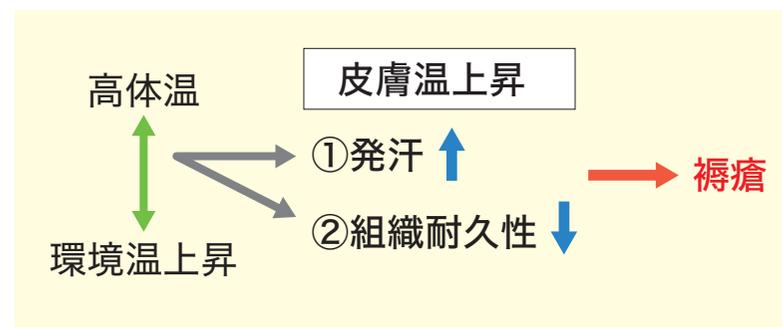
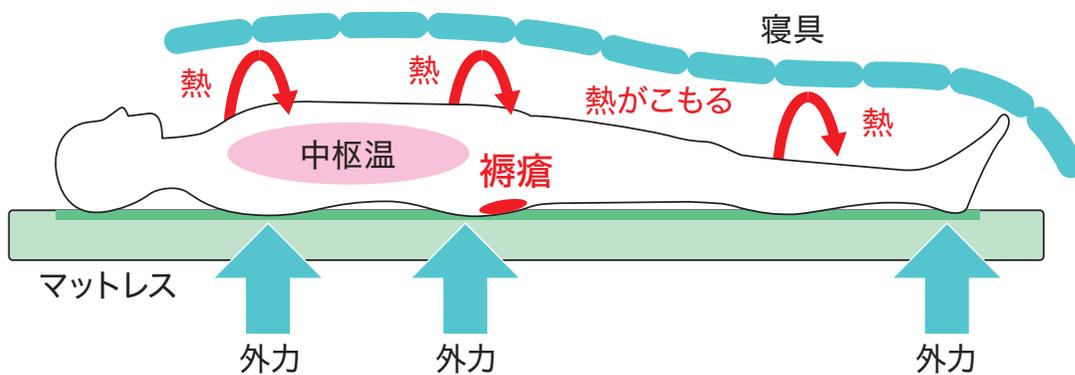
組織の温度上昇と褥瘡発生

- 体温が1°C上昇すると組織の代謝が10%亢進する
- 代謝亢進状態で虚血になると組織損傷のダメージが大きくなり褥瘡が発生しやすくなる



Microclimate (微小環境・寝床内環境)

一般病棟



Suriadi; 2007, Yusuf S; 2015, Yoshimura; 2015

褥瘡予防のためのポジショニングの重要性 -生理的な圧の分散-

仰臥位での生理的圧



仰臥位：
後頭部、背中、殿部、腓腹部、踵部に圧がかかります。

端座位での生理的圧



端座位：
殿部に圧が集中します。

車椅子座位での生理的圧



車椅子座位：
殿部に圧がかかります。

車椅子座位での生理的圧



車椅子座位(前座り)：
殿部に加え、肩甲骨付近に圧がかかります。



車椅子座位(円背)：
殿部に加え、背部の突出部に高い圧がかかります。



体位によって高い圧がかかる部位を理解し、
ポジショニングによって圧分散に努めましょ
う。

〈監修〉 田中マキ子(山口県立大学 学長)

〈企画〉 有限会社 並木メディカル・サービス

〈協力〉 株式会社 シーエンジ販売